

6年生 懇談会資料

1. 始めのあいさつ・・・学級委員さん
2. 3カ月を振り返って
 - (1) 学習面について
 - (2) 生活面について
3. 夏休みの課題について
 - ①全員が取り組むもの
 - ②取り組めるとよいこと
4. その他
5. 終わりのあいさつ・・・学級委員さん



2. 3カ月を振り返って

(1)学習面について

- 考えをもち発表する場面では、個人で考える時間だけでなくペアやグループの交流も取り入れることで、自分の意見をもてるようになってきました。その結果、自分の考えに自信をもって挙手、発表できる人が増えました。また、発言はできなくても意見はもてたことを示すハンドサインを活用することで、全員挙手の場面も少しずつではありますが増えてきました。
- グループでの交流を通して、自分の意見を話したり、仲間の意見を聞いたりして、考えを深め、自分とは違う考えに気付くことができました。
- 丁寧に文字を書き、ノート作りを工夫している子が見られます。
- 多くの人々が、宿題に加えて自主学習に取り組めるようになりました。これは、お子様の頑張りはもちろんですが、保護者の皆様の見届け・励ましも大きいと思います。ありがとうございます。
- 集中力が途切れてしまう子には個別に声をかけ、継続して学習できるように指導をしています。
- 忘れ物をする子が決まってきています。持ち物をそろえることが学習に向かう気持ちを整えることにつながるので、指導を続けていきます。また、記名を確認することも習慣にしていきたいです。

(2)生活面について

- 班の仲を深め、協力して生活することができています。
- 係活動を通して、学級の生活をより良いものにしようと、最後までやりきることができる子が多くなりました。
- 活動内容を工夫し、キャンペーンを行ったり、声をかけたりすることができます。
- その場の楽しさを優先して行動してしまう場面がありました。自分のこと、仲間のこと、その先どうするとよいかを考えたり、判断したりして行動できるように声をかけていきます。
- 言われたことはきちんとやりきることができますが、進んでアイデアを出す、動くという点にまだ弱さがありました。行事や毎日の生活の中で、主体性をみがいていきます。

3. 夏休みの課題について

◇全員が取り組むこと◇

1	自分で選んで取り組む課題 (別紙参照)	<p>○研究・工作・読書感想文・ポスターなど、長期の休みだからこそできるものを考え、<u>じっくり取り組める内容のものを1つ選んで取り組みます。</u></p> <p>○自分で計画・実行という観点から市販の工作のキット類の使用は避けてください。</p> <p>○作品票を貼って提出します。</p> <p>○夏休みの作品や研究は、8月29日(火)の正午までに提出をお願いします。</p> <p>※今年度も、作品や研究の事前受け取りを行います。お子さんの手では持ちきれない作品や、事前に提出を希望される場合は、8月25日(金) 12:00~15:00に学校へお持ちください。(直接、体育館へ持ち込んで頂き、各学年の場所に置いてください。)</p> <p>※7月に入ったら、お子様が何に取り組むのかを事前に考えます。取り組み見通し表(仮名)を持ち帰らせますので、保護者の皆様からのアドバイスがいただけるとありがたいです。</p>
2	夏の友	<p>○学習のページは答え合わせをし、間違い直しもします。</p> <p>○読み物や運動のページは、取り組んだ日の日付を記入します。</p> <p>○<u>夏休みの終わりにP.92を記入します。</u></p>
3	夏休みの くらし	<p>○毎日の記録を書くところには、事前に夏休みの予定を記入し、見通しをもって夏休みが過ごせるようにします。</p> <p>○「早寝早起き」「勉強」「お手伝い」「体づくり」「自分で決めたこと」について、めあて通りできたか評価(○・△・×)します。</p> <p>○8月末に夏休みを振り返って「反省」を書きます。</p> <p>○8月末にお家の方からお子さんへの振り返りの言葉を書いてあげてください。</p>
4	一家庭一実践	<p>○PTAから配布されます。夏休み明けに提出します。</p>
6	問題集 サマー32	<p>○答えも配りますので、答え合わせをして、間違っていたら直しもして提出します。声かけや見届けをしていただけるとありがたいです。</p>
7	プラーク テスト	<p>○夏休み中に、プラークテストを行ってください。8月29日(火)に個人判定用紙を提出してください。</p>

◇取り組めるとよいこと◇

A	7月までの 学習内容の 復習 など	<p><取り組みの例></p> <p>(1) 定着を図る学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字のとびら、計算ドリルをもう一度やってみる。 ○算数の教科書の問題をもう一度解いてみる。 ○Eライブラリで国語・算数・理科・社会の復習をする。 <p>(2) じっくりと取り組む学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな本を読む。 ○理科や社会科で学習したことを、更にくわしく調べたり確かめたりする。
B	1で取り組んだもの以外に 取り組みたい こと 各種応募作品 (ポスター、 書写、貯金 箱など)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の得意分野をさらに伸ばすために、納得できるまで作品作りに取り組むことができます。これも、時間のある夏休みだからこそできるチャンスです。 ○ポスターや書写、貯金箱、発明くふう作品などがあります。 ○後日、募集要項一覧を配布します。 ○応募作品を出す場合は募集要項を熟読し、応募資格を満たすものを提出してください。

4. その他

- ☆ 読書感想文の書き方、社会科・理科作品の進め方について資料を別紙添付してあります。参考にしてください。
- ☆ 登校日はありません。
- ☆ 学校の図書館は開館しません。市などの図書館を利用してたくさん本が読めるとよいです。

